

平成 19 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 日本パワーファスニング株式会社  
代 表 者 名 取締役社長 土 肥 雄 治  
(コード番号 5950 大証第2部)  
お問合せ先 取締役専務執行役員  
管理本部長 狩 野 利 昭  
電 話 0 6 ( 6 4 4 2 ) 0 9 5 1

## 業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向などを踏まえ本日開催の当社取締役会において、平成 19 年 8 月 9 日の中間決算発表時に公表しました平成 19 年 12 月期（平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）の業績予想並びに配当予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 19 年 12 月期通期業績予想数値の修正（平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）

なお、前年度は 9 か月間の変則決算であったため、その記載を省略しております。

##### (1) 連結

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	11,500	590	550	220
今回修正予想 (B)	11,000	340	300	50
増 減 額 (B-A)	△500	△250	△250	△170
増 減 率 (%)	△4.3	△42.4	△45.5	△77.3

##### (2) 個別

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	8,700	290	240	100
今回修正予想 (B)	8,200	100	50	△30
増 減 額 (B-A)	△500	△190	△190	△130
増 減 率 (%)	△5.7	△65.5	△79.2	—

## 2. 業績予想修正の理由

連結の業績予想につきましては、主力の建築用ファスナー及びツール関連事業において、本年6月20日に施行された改正建築基準法に伴う建築確認審査の厳格化などの影響により、特に当第3四半期において住宅・非住宅分野とも建築工事が大幅に減少しました。第4四半期におきましては建築確認審査の混乱は終息に向かい、建築投資も回復することが予想されるものの、当第3四半期の減収要因を補いきれず、当該事業の通期売上高は前回予想より減少する見込みとなりました。

利益面につきましても、全社で収益改善に努めましたが、販売数量の減少に加え、価格競争の激化や材料価格の高騰による利益率の低下などにより、営業利益、経常利益とも前回予想を大きく下回る見込みであります。さらに、特別損益の部において、グループ内の生産・物流体制の再構築に伴う特別損失を計上したことなどにより、当期純利益も前回予想を大きく下回る見込みとなりました。

なお、個別の業績予想につきましても、建築用ファスナー及びツール関連事業を主力としており、連結と同様の理由により業績予想を修正しております。

## 3. 配当予想の修正について

### (1) 平成19年12月期 配当予想の修正

(1株当たり配当金額：単位 円)

	中間期	期末	年間
前回発表予想	2	3	5
今回修正予想	2	2	4
前期実績	—	4	4

### (2) 修正の理由

当社は株主の皆様への安定的かつ継続的な利益還元を重要施策のひとつとして考えており、前回発表時では中間配当の復活と年間配当額5円（1円増配）を予定しておりました。

しかしながら、業績予想修正に記載しましたとおり前回予想より利益が減少する見込みであるため、誠に遺憾ではございますが、上記のとおり年間配当予想額を1円減額の年間4円（期末2円）とさせていただく予定であります。

これからも、より一層の経営効率化を図り業績の向上に努めてまいりますので、株主の皆様には今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

\*上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上